

「彦根は大丈夫」
と思ってる？

命を守る備え できていますか？



9月は台風や秋雨前線の影響により、大雨や暴風が発生しやすい季節です。短時間で河川が増水したり、道路の冠水や住宅への浸水など、水害の危険性が高まります。

近年は、令和6年能登半島豪雨など、毎年のように全国各地で記録的な大雨が発生し、大規模な浸水や土砂災害が相次いでいます。「観測史上初」をよく耳にするようになり、従来には想定されていなかった、より深刻な被害も出ています。

被害を最小限に抑えるためには、気象庁や市が発表する緊急情報をいち早く確認して「早めの避難行動」をとることと、一人ひとりが「日頃の備え」を行うことが重要です。

「彦根は大丈夫」と思わず、日頃から災害への備えを進めましょう。

問 危機管理課
☎ 30-6150 FAX 23-1777

！ 過去には・・・

平成2年9月
台風19号

▶犬上川橋（八坂町）が落橋



平成25年9月
台風18号

！ 彦根市初の
「大雨特別警報」！

- ▶約5万人（約2万世帯）に避難指示発令
- ▶市内64か所の指定緊急避難場所を開設
- ▶約1,700人が避難
- ▶道路の冠水、床下浸水などの被害が多数発生

芹川



平常時

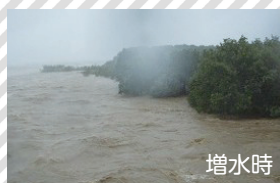


増水時

犬上川



平常時



増水時

！ 大雨接近！その時どう動く？

＜気象庁が発表＞ 警戒レベル1 早期注意情報	＜気象庁が発表＞ 警戒レベル2 注意報	＜彦根市が発令＞ 警戒レベル3 高齢者等避難	＜彦根市が発令＞ 警戒レベル4 避難指示	＜彦根市が発令＞ 警戒レベル5 緊急安全確保
備蓄や避難経路の確認を ▶日頃から、自宅の雨どいや地域の用水路などの清掃を行い、排水機能を確保しましょう。 ▶備蓄品や、非常持ち出し袋の確認をしましょう。 ▶家族と避難場所や連絡方法を確認しましょう。 災害時の情報の受け取り方を確認しましょう 災害時には、以下のような方法で避難情報などを発信します。複数の媒体で情報が受け取れるよう、日頃から準備をお願いします。 ▶彦根市メール配信システム ▶彦根市ホームページ（トップページ緊急情報） ▶同報系屋外放送設備（屋外防災スピーカー） ▶ダイヤルサービス（自動音声案内） ▶アプリ「Yahoo!防災速報」 ▶彦根市防災Xアカウント など ▲災害情報の入手手段（一覧）		移動が大変な人は避難開始 ▶高齢者や障害のある人、小さなお子さんがいる家庭では、早めに避難をしましょう。 ▶避難が必要な場合は、暗くなったり、雨が強まったりする前に早めに行動しましょう。 彦根市メール配信システムに登録すると、避難所開設のお知らせなどがメールで届きます。	速やかに避難！ ▶自らの判断で危険な場所から全員避難しましょう。 市が指定した避難場所への避難のほかに、安全な親戚・知人宅などへの避難も選択肢の一つです。	ただちに命の確保を！ すでに周辺が浸水していたり、土砂崩れなどが起きている可能性があります。立ち退き避難ができない場合は、少しでも安全な場所（建物のできるだけ高いところや、山・がけなどから離れた部屋）に移動し、身の安全を確保してください。

！ 我が家のリスクは？

いざという時に慌てずにすむよう、ハザードマップで自宅や関係先のリスクを確認しておきましょう。

自宅周辺は
川が近いけど
浸水しない？

近くの避難所は
どこ？



勤務先は
裏が山だけど
大丈夫？

避難ルートは
どうする？

災害が発生してしまったら動けません！

- ▶3m以上の洪水による浸水がある区域
 - ▶家屋倒壊等氾濫想定区域
 - ▶土砂災害（特別）警戒区域
- など、リスクの高い地域にお住いの人は早めに避難を！

！ 近年増加している被害「内水氾濫」

内水氾濫とは、短時間の集中豪雨などで降った雨が下水道や排水路で処理できず、道路や住宅地などで溢れる現象です。

河川から離れた場所でも発生するため、「川が近くにないから安全」と思いこまないことが重要です。



ハザードマップは、彦根市ホームページ、彦根市 LINE、彦根市民防災マニュアル（令和4年に全戸配布）で確認いただけます。



▶彦根市ホームページ
各種ハザードマップを
掲載しています。



▶彦根市 LINE
基本メニューの「防災」から、
近くの避難場所も検索できます。



▶彦根市民防災マニュアル
市役所本庁舎（1階ライフサービス課・4階危機管理課）や稲枝支所・各出張所で市民向けに配布しています。
多言語版もあります。